



平成29年12月期 第3四半期決算短信(日本基準)(非連結)

平成29年11月13日

上場会社名 スターツ出版株式会社
 コード番号 7849 URL <http://starts-pub.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月14日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 (氏名) 菊地 修一
 (氏名) 金子 弘
 TEL 03-6202-0311

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年12月期第3四半期の業績(平成29年1月1日～平成29年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年12月期第3四半期	3,108	9.4	200	10.9	268	17.8	171	19.4
28年12月期第3四半期	2,840	1.3	181	41.2	228	32.2	143	50.1

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年12月期第3四半期	89.44	
28年12月期第3四半期	74.90	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年12月期第3四半期	4,911	3,955	80.5	2,060.36
28年12月期	4,530	3,692	81.5	1,923.36

(参考)自己資本 29年12月期第3四半期 3,955百万円 28年12月期 3,692百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年12月期		0.00		30.00	30.00
29年12月期		0.00			
29年12月期(予想)				30.00	30.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年12月期の業績予想(平成29年1月1日～平成29年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,350	8.5	350	1.1	400	0.2	210	7.2	109.38

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年12月期3Q	1,920,000 株	28年12月期	1,920,000 株
-----------	-------------	---------	-------------

期末自己株式数

29年12月期3Q	78 株	28年12月期	78 株
-----------	------	---------	------

期中平均株式数(四半期累計)

29年12月期3Q	1,919,922 株	28年12月期3Q	1,919,922 株
-----------	-------------	-----------	-------------

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第3四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善が継続し、景気は総じて緩やかな回復傾向で推移いたしました。しかしながら、欧米の政治的リスクや北朝鮮問題による地政学リスクの高まり等、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

当社が属する出版業界におきましては、近年のスマートフォン等の情報端末の普及、情報伝達手段の多様化によるライフスタイルの変化に大きく影響を受けており、紙出版の雑誌、書籍の売上が連続して減少し、市場は緩やかに縮小しております。一方、電子出版は紙出版と比較して規模は小さいものの売上が増加しており、電子書籍・雑誌の定額制読み放題サービスなど新たなサービスも拡大しております。

このような環境の中で、当社は「感動プロデュース企業へ」という経営ビジョンのもと、既存の出版社の枠にとらわれず「メッセージやストーリーの詰まったコンテンツとサービスで、新たな時間の使い方や、ライフスタイルを提案し、感動の輪を広げる」ことを目的とし、紙・電子出版による雑誌、書籍、コミックの発行、女性向けWEBサイト「オズモール」、ケータイ小説投稿サイト「野いちご」等の運営、オリジナルイベントの開催とそれらを掛け合わせたコンテンツ展開を軸として事業を運営してまいりました。また、当期の経営戦略として、外部販促を含めた販売施策の強化等による既存事業の拡大、人材の増強とシステム開発投資による事業基盤の強化を推進しております。

このような営業活動の結果、当第3四半期累計期間の売上高は31億8百万円（前年同期比9.4%増）、営業利益は2億円（前年同期比10.9%増）、経常利益は2億68百万円（前年同期比17.8%増）、四半期純利益は1億71百万円（前年同期比19.4%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

なお、第1四半期会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

<東京マーケティングドメイン>

東京マーケティングドメインにおきましては、東京圏で、オリジナルのマーケティング・モデルを創造するという戦略のもと、「厳選店舗マーケティング」と「体験価値マーケティング」を軸に事業を展開してまいりました。

「厳選店舗マーケティング」は、当第3四半期累計期間末現在で270万人を超える会員を有する「オズモール」の成功報酬型の送客サービス「オズのプレミアム予約」シリーズを中心に展開し、独自基準で厳選したビューティサロン、ホテル、レストランなどの利用予約サービスを提供しております。当第3四半期累計期間は、前事業年度より積極的に取り組んでいる予約可能施設の拡充などの施策が奏功し、前年同期と比較して送客手数料売上が増加しております。費用面におきましては、外部販促の強化や9月に実施した銀座を中心とした女性向けライフスタイル誌「オズマガジン」との連動プロモーションにより広告宣伝費、予約可能施設数を拡大する為の業務委託費などが前年同期と比較して増加しております。

「体験価値マーケティング」では、「オズモール」や女性向けライフスタイル誌「オズマガジン」、フリーマガジン「メトロミニッツ」などのメディア展開と約1,000名の旅好き女性が参加するイベント「OZの女子旅EXPO」などのオリジナルイベントを開催しております。当第3四半期累計期間は、前年同期と比較して雑誌の発行点数は減少しておりますが、創刊30周年を迎えた「オズマガジン」の売上が好調に推移したことにより、雑誌の販売売上が増加しております。費用面におきましては、前事業年度より取り組んでいる雑誌制作体制の見直しにより、前年同期と比較して制作コストが減少しております。

このような営業活動の結果、東京マーケティングドメインの売上高は22億60百万円（前年同期比3.1%増）、営業利益は88百万円（前年同期比38.8%減）となりました。

<投稿コンテンツドメイン>

投稿コンテンツドメインにおきましては、ターゲット別小説投稿サイトの運営と書籍の発行を継続的に行っております。小説投稿サイトにおきましては、若年層向けのケータイ小説投稿サイト「野いちご」と20代から40代の女性向けの小説サイト「Berry's cafe」を運営しております。

当第3四半期累計期間は、紙・電子書籍の発行点数の増加、3月の若年層向け恋愛小説レーベル「野いちご文庫」創刊などのコンテンツの拡充が奏功したことや、昨年11月より販売を開始した電子コミックの売上が堅調に推移したことなどにより、前年同期と比較して書籍の販売売上が増加しております。

このような営業活動の結果、投稿コンテンツドメインの売上高は8億47百万円（前年同期比30.6%増）、営業利益は1億77百万円（前年同期比95.1%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債、純資産の状況

(資産)

当第3四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末と比べ3億81百万円増加し、49億11百万円となりました。流動資産は、売掛金が46百万円減少した一方で、現金及び預金が52百万円、仕掛品が35百万円増加したこと等により、前事業年度末と比べ1億円増加し、36億27百万円となりました。

固定資産は、「オズモール」のシステム開発等により無形固定資産が57百万円、親会社株式が1億98百万円増加したこと等により、前事業年度末と比べると2億80百万円増加し、12億84百万円となりました。

(負債)

当第3四半期会計期間末の負債は、前事業年度末と比べ1億18百万円増加し、9億56百万円となりました。流動負債は、買掛金が92百万円、季節的要因により賞与引当金が62百万円増加した一方で、未払法人税等が60百万円減少したこと等により、前事業年度末と比べると57百万円増加し、7億24百万円となりました。

固定負債は、前事業年度末と比べると60百万円増加し、2億31百万円となりました。

(純資産)

当第3四半期会計期間末の純資産は、前事業年度末と比べ2億63百万円増加し、39億55百万円となりました。これは、利益剰余金が1億14百万円、その他有価証券等評価差額金が1億48百万円増加したことによるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期累計期間における現金および現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度に比べ52百万円増加し、13億41百万円となりました。

当第3四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、法人税等の支払1億53百万円等による資金の使用の一方で、税引前当期純利益2億36百万円、減価償却費1億6百万円等の資金の増加により、3億20百万円の資金を獲得（前年同四半期は3億54百万円の資金を獲得）いたしました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、「オズモール」のシステム開発等により2億11百万円の資金を使用（前年同四半期は1億33百万円の資金を使用）いたしました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払により57百万円の資金を使用（前年同四半期は57百万円の資金を使用）いたしました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想に関しましては、平成29年2月13日発表の「平成28年12月期 決算短信（非連結）」に記載しました業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成28年12月31日)	当第3四半期会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,289,527	1,341,528
売掛金	1,419,098	1,373,089
製品	33,890	52,551
仕掛品	30,743	66,526
前払費用	22,567	32,479
関係会社預け金	800,000	800,000
繰延税金資産	48,222	69,372
その他	334	643
返品債権特別勘定	△115,093	△106,343
貸倒引当金	△2,964	△2,709
流動資産合計	3,526,326	3,627,138
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備(純額)	13,127	12,251
工具、器具及び備品(純額)	12,728	18,824
有形固定資産合計	25,856	31,076
無形固定資産		
商標権	2,269	2,098
ソフトウェア	317,234	397,575
電話加入権	2,376	2,376
ソフトウェア仮勘定	50,452	27,994
無形固定資産合計	372,331	430,044
投資その他の資産		
親会社株式	428,434	626,623
投資有価証券	67,080	83,551
差入保証金	92,424	92,424
破産更生債権等	3,118	4,521
貸倒引当金	△3,118	△4,521
その他	18,183	20,913
投資その他の資産合計	606,123	823,513
固定資産合計	1,004,311	1,284,633
資産合計	4,530,638	4,911,772

(単位:千円)

	前事業年度 (平成28年12月31日)	当第3四半期会計期間 (平成29年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	184,029	276,496
未払金	47,953	43,919
未払法人税等	82,898	22,377
未払事業所税	3,803	2,868
未払消費税等	27,941	5,967
未払費用	22,742	32,147
前受金	27,213	15,572
預り金	34,847	40,100
賞与引当金	18,400	81,200
返品調整引当金	180,514	163,635
ポイント引当金	37,355	40,556
流動負債合計	667,699	724,842
固定負債		
退職給付引当金	3,248	-
役員退職慰労引当金	47,900	51,100
繰延税金負債	119,091	180,095
固定負債合計	170,239	231,195
負債合計	837,939	956,037
純資産の部		
株主資本		
資本金	540,875	540,875
資本剰余金	536,125	536,125
利益剰余金	2,318,534	2,432,649
自己株式	△189	△189
株主資本合計	3,395,344	3,509,459
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	297,354	446,274
評価・換算差額等合計	297,354	446,274
純資産合計	3,692,698	3,955,734
負債純資産合計	4,530,638	4,911,772

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年9月30日)	当第3四半期累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)
売上高	2,840,897	3,108,010
売上原価	1,895,041	2,022,317
売上総利益	945,855	1,085,692
返品調整引当金戻入額	103,061	180,514
返品調整引当金繰入額	146,157	163,635
差引売上総利益	902,759	1,102,571
販売費及び一般管理費	721,628	901,661
営業利益	181,130	200,910
営業外収益		
受取利息	3,090	3,001
受取配当金	37,308	56,440
雑収入	6,751	8,660
営業外収益合計	47,149	68,103
営業外費用		
雑損失	112	161
営業外費用合計	112	161
経常利益	228,167	268,851
特別損失		
固定資産除却損	3,913	31,943
特別損失合計	3,913	31,943
税引前四半期純利益	224,253	236,907
法人税、住民税及び事業税	97,856	91,080
法人税等調整額	△17,400	△25,885
法人税等合計	80,456	65,194
四半期純利益	143,797	171,713

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自 平成28年1月1日 至 平成28年9月30日)	当第3四半期累計期間 (自 平成29年1月1日 至 平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	224,253	236,907
減価償却費	103,335	106,397
固定資産除却損	3,913	31,943
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△15,490	1,147
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	3,100	3,200
賞与引当金の増減額(△は減少)	55,300	62,800
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△7,301	△3,248
返品債権特別勘定の増減額(△は減少)	△23,125	△8,749
返品調整引当金の増減額(△は減少)	43,096	△16,879
ポイント引当金の増減額(△は減少)	△4,286	3,200
受取利息及び受取配当金	△40,398	△59,442
売上債権の増減額(△は増加)	217,783	46,009
たな卸資産の増減額(△は増加)	△41,977	△54,443
破産更生債権等の増減額(△は増加)	-	△1,403
その他の資産の増減額(△は増加)	2,669	△10,235
仕入債務の増減額(△は減少)	△40,992	92,467
未払金の増減額(△は減少)	△10,981	3,058
未払消費税等の増減額(△は減少)	△18,750	△21,973
その他の負債の増減額(△は減少)	△4,261	2,082
その他	2,535	2,284
小計	448,421	415,123
利息及び配当金の受取額	40,398	59,442
法人税等の支払額	△133,921	△153,885
営業活動によるキャッシュ・フロー	354,898	320,681
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△246	△15,775
無形固定資産の取得による支出	△136,677	△192,734
保険積立金の積立による支出	△2,715	△2,715
差入保証金の回収による収入	6,355	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	△133,284	△211,225
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△57,810	△57,454
財務活動によるキャッシュ・フロー	△57,810	△57,454
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	163,804	52,001
現金及び現金同等物の期首残高	1,237,814	1,289,527
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,401,618	1,341,528

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期会計期間から適用しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間(自平成28年1月1日至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	東京マーケティング ドメイン	投稿コンテンツ ドメイン	計	調整額(注1)	四半期損益 計算書計上額 (注2)
売上高					
外部顧客への売上高	2,192,172	648,725	2,840,897	—	2,840,897
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,192,172	648,725	2,840,897	—	2,840,897
セグメント利益	144,355	90,817	235,173	△54,043	181,130

(注) 1. セグメント利益の調整額△54,043千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用になります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行なっております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期累計期間(自平成29年1月1日至平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	東京マーケティング ドメイン	投稿コンテンツ ドメイン	計	調整額(注1)	四半期損益 計算書計上額 (注2)
売上高					
外部顧客への売上高	2,260,776	847,233	3,108,010	—	3,108,010
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,260,776	847,233	3,108,010	—	3,108,010
セグメント利益	88,311	177,148	265,460	△64,549	200,910

(注) 1. セグメント利益の調整額△64,549千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用になります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行なっております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社は、従来「東京マーケティングドメイン」、「投稿コンテンツドメイン」、「地域密着ドメイン」の3区分を報告セグメントとしておりましたが、第1四半期会計期間より「東京マーケティングドメイン」に「地域密着ドメイン」を統合し、「東京マーケティングドメイン」、「投稿コンテンツドメイン」の2区分に変更しております。これは、「地域密着ドメイン」の量的な重要性の低下と「東京マーケティングドメイン」との事業の類似性を鑑み、経営管理体制を見直したことによるものです。

なお、前第3四半期累計期間のセグメント情報は、変更後のセグメント区分で記載しております。